

CBSO

City of Birmingham
Symphony Orchestra

新時代の到来。英国から凱旋のシンフォニー

山田和樹指揮

首席指揮者兼アーティスティックアドバイザー就任決定!

© Hannah Fathers

英国

バーミンガム市交響楽団

Kazuki Yamada & City of Birmingham Symphony Orchestra

© Benjamin Ealovega

Program

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 (ヴァイオリン: 榎本大進)

Brahms: Violin Concerto in D major, op.77

エルガー: 交響曲 第1番

Elgar: Symphony No.1 in A-flat major, op.55

榎本大進
(ヴァイオリン)

Daislin Kashimoto, Violin

© Keita Osada (Ossa Mondo A&D)

2023 6/24 (土) 2:00PM開演 (1:15PM開場)

A 15,000円 B 12,000円 C 9,000円 D 6,000円 E 3,000円 (全席指定/税込)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク/ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

[10:00AM-5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日]

一般発売 12/11(日) チケット予約 ●芸術文化センター 0798-68-0255 <https://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 12/10(土) ●チケットぴあ <https://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <https://l-tike.com> ●イープラス <https://eplus.jp>

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター [12/13(火)より、残席がある場合のみ]

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター

西宮から
文化力
POWER OF
CULTURE

英国から凱旋のシンフォニー 山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団

2021年9月、ビッグニュースが駆けめぐる。
「山田和樹氏が、2023年4月から、バーミンガム市交響楽団 首席指揮者兼アーティストティックアドバイザーに就任する」

のちにベルリン・フィルの首席指揮者となる若き日のラトルや、ボストン交響楽団の音楽監督を務めているネルソンスが、かつてこのオーケストラの首席指揮者、音楽監督に就いていた。とりわけラトル時代に、世界的オーケストラへと発展した事は広く知られている。

山田は、プザンソン指揮者コンクール優勝以来、快進撃を続け飛ぶ鳥を落とす勢いの旬の指揮者。現在ベルリンを拠点に、ヨーロッパと日本を中心に精力的に活動している。2022年7月には、ロンドンの夏の風物詩、プロムスの音楽祭にデビューし、大絶賛されたばかり。

演奏されるのは、英国が誇る、エルガーの交響曲第1番。初演当時、あまりの評判で1年に100回以上も演奏されたという。50分の大曲ながら、あっという間に感じるの、壮大なスケール感。冒頭から引き込まれる印象的な美しいメロディが、全編を通じて見え隠れし、やがてクライマックスを迎えて、感動的に締めくくられる。

山田は言う。「エルガーはイギリスの誇りを表現している作曲家。この作品を演奏する時のオーケストラの表情、奏でる音楽は、他にはないもの」

エルガーと共に演奏されるのは、ブラームスのヴァイオリン協奏曲。ソリストは、ベルリン・フィルのコンサートマスター、樫本大進。世界で活躍する多忙な二人の音楽界のスターが、日本、ここ西宮を舞台に繰り広げるザ・クラシック・直球コンサート。2人は2021年5月にバーミンガムで共演し、聴衆の喝采を浴びている。

歴史の転換期を迎えた英国。この最強の組み合わせで何が起こるのか。新時代の幕開けはドラマ誕生の予感。我々は、歴史の目撃者となるだろう。

山田和樹プロムス・デビュー! 2022.7.22

ザ・ガーディアン紙 『圧倒的な魅力に満ちていた。』

イブニング・スタンダード紙 『CBSOの楽団員たちは山田和樹にしか表現できない音楽と一体になっていた。』

Bachtrack.com 『山田和樹は指揮者で踊り(!!)、第二楽章のアレグロ・モルトでは伸び上がって(!!)いた。』

Thoroughly Good 『90名以上の音楽家が指揮者に導かれ素晴らしい瞬間を創り出す。それを聴衆も一緒に感じ、音楽とともに呼吸をする…それが生(ライブ)のコンサートとの素晴らしい出会いであり、それこそがこの日の演奏会を忘れられないものにした。』

Message

彼らとは、すでに本当の意味で「パートナー」と言える存在であり、リハーサルでも本番でも心から音楽を楽しめ合います。世界で一番音楽を楽しめるオーケストラ、と言っても過言ではない自信があり、毎回は「世界一幸福な指揮者である」と言える関係です。

6年ぶりの日本ツアーで、ぜひその「パートナー」と作り上げる音楽を、皆様に観て聴いていただきたいです。

山田和樹

Kazuki Yamada, Conductor

山田和樹 (指揮)

第51回プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。パリ管、ドレスデン国立歌劇場管、チェコ・フィル、フィルハーモニア管、ベルリン放送響、サンタ・チェチーリア管、ワシントン・ナショナル管など、世界の主要オーケストラに客演を重ねている。2012年から2018年までスイス・ロマン管弦楽団の首席客演指揮者を務めた他、2016/17シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。2018/2019シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団とは、2022年7月にBBCプロムスにデビュー。2023年4月からは首席指揮者兼アーティストティックアドバイザーに就任する予定。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、文化庁芸術祭大賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表する人気マエストロである。

© Hannah Fathers

Daishin Kashimoto, Violin

樫本大進 (ヴァイオリン)

フリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールで優勝。マゼール、小澤征爾、ヤンソンス、P.ヤルヴィなど著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演。室内楽でも、クレーメル、堤剛などと共演を重ね、現在、兵庫県で「ル・ボン国際音楽祭～赤穂・姫路」を音楽監督として率いている。2010年にはベルリン・フィル第1コンサートマスターに正式就任。ソリスト活動と並行し、ヨーロッパ楽壇の最前線で活躍している。使用楽器は、株式会社飛鳥(志村晶代表取締役)から貸与された1744年製デル・ジェス「ド・ベリオ」。

© Keita Osada (Ossa Mondo A&D)

City of Birmingham Symphony Orchestra

バーミンガム市交響楽団 (CBSO)

イギリスを代表するオーケストラの一つ。2020年に創設100周年を迎えた。CBSOはバーミンガムのシンフォニー・ホールを本拠地とし、同市やイギリス全土、および世界各地で、毎年150回以上のコンサートを行い、世界的な名声を獲得している。また学習・参加型プログラムの運営にも携わり、質の高い音楽を届けたい。1980年に当時無名だった若手指揮者、サイモン・ラトルを首席指揮者に任命。その精力的な音楽作りでラトルとCBSOは世界的に有名になった。その後、サカリ・オラモ(1998年-2008年)、アンドリス・ネルソンス(2008年-2015年)、そしてミルガ・グラジニエ＝ティラのもとで、CBSOはさらに実績を積み重ねている。そして2023年4月より、2018年以来、首席客演指揮者を務めている山田和樹が首席指揮者に就任する。

(チケットご購入のお客様へのお願い)新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いいたします。

※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。※新型コロナウイルス感染症陽性の方、37.5度以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者・曲目などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご来場前にウェブサイトで掲載の「当センターをご利用のお客様へ」をご確認ください。ご確認いただけますようお願いいたします。



アクセス

